

調査研究レポート発表会のご案内

当センターにおける調査研究内容等に基づき講演テーマを選定し、講演させていただきます。
この機会に是非ご参加賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 日時：2019年9月11日（水）13：00～16：00（受付12：30～）
2. 場所：FISC 大会議室 東京都中央区入船 2-1-1 住友入船ビル 4 階
3. 定員：50名（先着順） 7月22日（月）9:30 申込開始
ホームページ（<https://www.fisc.or.jp>）の「イベント・セミナー一覧」からお申込み下さい。
4. 受講料：FISC 会員 無料、一般（非会員）2,000 円、教育機関 1,000 円（消費税込）
5. プログラム

クラウドサービスの活用動向

講師：調査部 研究員 高野 宗昌

クラウドサービスの利用において、これまで課題と考えられていた「監査受入態勢」や「セキュリティ面」等への不安については、クラウド事業者による各種対応や情報提供等により徐々に解消されつつあります。多くの金融機関等では、クラウドサービスを使ってみるという段階から、経営戦略に基づきクラウドサービスを活用する段階への転換が見られ始めています。このような状況を踏まえ、クラウドサービスをめぐる動向や金融機関等における新たなクラウドサービスの活用事例等を解説します。*2019年7月実施の地区別セミナー名古屋での講演と同じ内容になります。

➤ 13:50～14:30

海外における FinTech の発展と地域金融機関の対応

講師：調査部国際業務室 室長 片山 謙、調査部 総括主任研究員 本城 剛

アジアなどの新興国では、預金口座を持たない消費者を取り込みつつモバイル決済、ローン、保険等の利用の裾野が急速に広がりをみせています。他方、先進国（ドイツ）では、地域密着を標榜する金融機関が若い顧客層をつなぎとめるべく、サービス高度化に取り組んでいます。本講演では、これらの取組事例を紹介するとともに、地域金融機関への示唆を解説します。

➤ 14:40～15:20

金融機関等における事業継続計画(BCP)の実効性向上に向けた取組み

講師：調査部 次長 岩瀬 幸介

どの金融機関でも事業継続計画（BCP）は整備されています。しかし、いかに毎年の訓練を繰り返していても、想定外の大災害などに見舞われた際には既存の BCP だけでは上手くいかず、本部や現場で咄嗟の判断を迫られる場面が多くあります。本講演では、平成 30 年に発生した 2 つの大規模自然災害（平成 30 年 7 月豪雨・9 月北海道胆振東部地震）について、当該エリアを営業区域とする金融機関に対して取材を行い、新たに得られた気付きや今後に向けた BCP の見直しポイントを解説します。

➤ 15：30～15：45 意見交換会

講演内容を中心に簡単な意見交換を行う予定です。

➤ 15：45～16：00 FISC ニュース

FISC で現在調査研究している内容についてご紹介いたします。



講演資料について

当日、講演資料のご用意はございません。受講証送付時にPWをお知らせいたしますので、FISCホームページより各自ダウンロードしていただき、印刷、若しくは電子媒体をご用意のうえ、お越し下さいませ。
お手数をおかけいたしますが宜しくお願い致します。

■問合せ先■ 公益財団法人 金融情報システムセンター（FISC） 研修センター
TEL : 03-5542-6073 E-mail : kenshu@fisc.or.jp